

# 本興寺だより

令和七年  
二月  
第二六六号

「悪世の中には、多く諸の恐怖あらん、悪鬼其の身に入つて、我を罵詈毀辱(めりきにく)人(ひと)をののしり悪口を言う(せん) 我等(われら)仏を敬い信じて、當に忍辱の鎧をきるべし」

(法華経 勸持品第十三)

大寒が明けて、二月二日は節分です。節分とは一年に四回あり、立春(二月三日)・立夏(五月五日)・立秋(八月七日)・立冬(十一月七日)のそれぞれ前日です。文字通り、旧暦の季節を分ける日ですが、何時しか一年の始まりである大切な立春の前日だけを「節分」と呼ぶようになってきました。

節分には、古くから豆まきをします。節分は、「一年間皆が無事に健康で暮らせますように」という願いを込めて、災いの元とされる鬼を、豆を撒いて退治する邪鬼の祓いや魔除けの意味があります。

近年では**恵方巻**を食べたりする風習があります。恵方とはその年の福徳を司る年神様のいる方向(恵方)吉方。本年は「**西南西と西の間**」です。縁や福を巻き込むためです。

昔から続いている風習や行事には、単に平穩無事を願うだけでなく、目に見えぬ人の心や自然界の中に貫

が出入りする方位や時間と云われています。鬼門の方位は清浄にして、また鬼門の時間はできるだけ心身を休めておくことが大事なのです。

冒頭の文のように、仏様は、世の中が濁って来ると人の心を脅かすような恐ろしい事が起こってくる。真面目に生きている人の悪口を言ったり敵対したりするものは、その心の中に恐ろしい悪魔(鬼)が入り込んでその力でそういう悪事をさせるのだと云われます。

人間は心に隙があるといくらでも鬼(魔)が入ってくるのだと。

何時も仏の教えを敬い、常に忍辱の鎧を着なさいと云われます。忍辱とは怒りの心を起こさない気持ちがあしつかりしていれば、どんな困難が来ても、自分の身に害を受けないという事です。鎧を着れば弓矢が来ても弾が来ても跳ね返すように。

昔の**桃太郎**の話で、桃太郎は鬼退治に**鬼ヶ島**に行きました。鬼ヶ島は**鬼門**(北東)の方角にあるため、それを退治するため、その対極にいる**南西(裏鬼門)**という(未申)ひつじさる)の動物の力が必要ということで、猿から時計周りに**猿・鳥(雉)・犬を鬼退治のお供にした**のです。ちなみに羊はその角が鬼に通じるから選ばなかったからとか。また「**犬猿の仲**」と云って犬と猿は昔から非常に中が悪いというのは、鬼退治に行った道中の食べ物(きび団子)の分け前で喧嘩したこととか・単なるおとぎ話ではなく、深い示唆があるのです。

私達は心が穏やかな時もあれば鬼になることもあ

かれている人の生き方、命の在り様を、肌で感じて、より良き智慧を持つて難なく生きようとする古人の祈りもあります。

「鬼」とは、死者の魂や祖霊という意味もあります。亡くなった人は「鬼籍に入る」とも言います。死者の霊は祭祀(供養)を行うことによって守り神になり、家を守る神として家の一番高いところに**鬼瓦**として祭られ、魔除けのために睨みをきかせるといわれます。鬼とは、人に恐怖を与えるものと捉えられており、その姿は仏様の教えを由来とし、餓鬼道の餓鬼、地獄の獄卒の姿もあります。



旧暦では**立春**は新年の始まりであり、その前日の節分は大晦日に当たるため、一年の締めくくりに鬼を追い払い、新しい年が平穩になるようお願いが込められたのです。

「鬼」とは実在しない架空のものであり、単に怖いものを擬人化しただけだと思っている人も多いのですが、仏様はそうではないと云われます。

鬼は人の心と同様に目に見えない霊体です。人の心の中にも外の世界にもいるのです。

鬼はどこから来るのか?それは十二支の方位でいうと「**丑寅(うしとと)**」**北東**からです。この方位を**鬼門**(きもん)鬼の門)と言います。丑寅の方位です。鬼は**丑(牛)**の角と**寅(虎)**のパンツ(黄色と黒の縞模様)と牙をつけた姿をしているのです。また**時間としては午前三時頃**です。邪氣(邪悪な鬼)

ります。人の心は海に浮かぶ島のようなものです。遠くから見ればどんな島か分かりません。上陸して探検して初めて分かります。自分の心は**宝島**だと思つていても、他人から見ればあの人の心は悪鬼が充満する**鬼ヶ島**だと思われていられるかもしれません。日々鬼の気持ちを出さない生き方が大事なのです。仏様は、**鬼神**には善神も悪神もおられ、悪神といえども仏の教えに出逢い人々を守護する善神へと変化できるのだと云われます。



「**鬼子母神**」という神様がおります。昔は悪神で、沢山の子どもをさらい命を奪っていました。お釈迦様によって一番大事な愛子を隠され、はじめて我が子を奪われた親の気持ちに気がき、お釈迦様に帰依して、法華経の行者や子どもを守ることを誓い、**法華経の守護神**として、**今日まで信仰されています**。

鬼子母神は怖い鬼形の姿と幼児を抱いた美しい菩薩形の姿があります。魔を祓う強い祈禱の力と**子安・子育てを護る優しい使命**を持つておられるのです。鬼は二本の角を生やしています。角を相手に向けて戦うことから相撲の力士は角士、相撲界は**角界**なのです。人の社会は勝ち負けの世界ではないのです。

他人との競争、張り合いの気持ちが強くなれば、**角(つ)が**出てきて、鬼の形相となり、言葉や行動に何時しか**角(かど)**が立ち、慢心の心の中が「**鬼ヶ島**」と化し、苦悩の日々が増えるのだと教えています。